

宮城県の農林水産業の概要

特徴・取組

宮城県は東北地方の東南部に位置し、奥羽山脈（西部）、北上高地（北部）、阿武隈（あぶくま）高地（南部）から流れ出る河川によってつくられた肥沃な仙台平野は、東北一の広がりを持つ豊かな穀倉地帯となっている。宮城県の森林は約42万haで県土の57%を占める。

また、本県沖合は親潮と黒潮がぶつかる生産性の高い海域であり、三陸沖漁場は世界3大漁場としても有名である。

気候は、東北地方としては比較的温暖で降雪が少ない。

県内の産業構造は、令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果では、第一次産業が4.0%、第二次産業が22.3%、第三次産業が73.7%となっている。

県内総生産は、令和4年度宮城県民経済計算では、第一次産業が1.4%、第二次産業が21.5%、第三次産業が77.1%となっている。

農業では、「ひとめぼれ」「ササニシキ」「だて正夢」「金のいぶき」などのみやぎ米、いちごやパプリカなどの園芸作物の生産と販売拡大に取り組んでいる。

林業では、すぎやひのきなどが大きく育ち、利用の適期を迎えており、住宅や家具などさまざまな場面に利用されている。

水産業では、まぐろやかつおなど、多様な魚種が水揚げされるほか、ぎんざけやかきなどの養殖も盛んな全国屈指の水産県となっている。

農業では、宮城県が誇るブランド農産物の「ひとめぼれ・ササニシキ・だて正夢・金のいぶき」や「仙台いちご」「仙台牛」をはじめとする「食材王国みやぎ」の自慢の品々を国内外に向けて発信していくとともに、競争力の高い園芸産地の確立や、先進技術の導入による農業生産の効率化と高度化を推進し、多様な人材が農業現場で活躍する、魅力ある農業の実現を目指している。

林業では、FSC（森林管理協議会）認証やCLT（直交集成板）建築の普及による新たな木材の需用の掘り起こし、県産材の利用拡大と再造林の取組等を推進している。また、県民参加型の森林づくり活動や森林病虫害防除対策を推進し、県民が森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城の実現を目指している。

水産業では、暖水性魚種の利活用推進や、新たな養殖種の探索、陸上養殖技術の研究・普及などを進めるとともに、「みやぎ漁師カレッジ」による新規漁業就業者の確保・育成や、ICT等の導入による労働の省力化・効率化に加え、県産水産物の消費拡大・販路開拓を図り、環境と調和した持続可能で活力ある水産業の確立を目指している。

主な農林水産物

大豆

県の優良品種「ミヤギシロメ」は、大粒で外観品質に優れ、主に地場大豆加工品に利用されている。（収穫量全国2位）



米

「ひとめぼれ」、「ササニシキ」の主産地。環境保全米等、環境に配慮した生産にも取り組む。（収穫量全国4位）



いちご

「仙台いちご」のブランド名で親しまれ、特に亘理郡は栽培に適しており、東北のいちご王国と呼ばれる。（収穫量全国10位）



パプリカ

栗原市や石巻市を中心に栽培され、国内収穫量の2割を宮城県産が占めている。（収穫量全国1位）



せり

根まで食べる「せり鍋」が有名。「河北せり」は令和2年12月に、「仙台せり」は令和6年3月にGI登録された。（収穫量全国1位）



肉用牛

A5、B5に格付けされた肉のみ呼称できる「仙台牛」は、品質、風味とも高く評価されている。（飼養頭数全国8位）



まぐろ類

漁獲量が全国トップクラスの県を代表する魚。なかでもめばちまぐろの漁獲量は全国第1位を誇る。（漁獲量全国2位）



さめ類

気仙沼市が主産地であり、ヒレを原料とする高級食材「フカヒレ」は海外にも輸出されている。（漁獲量全国1位）



ぎんざけ(養殖)

志津川湾が養殖発祥の地。一部の養殖ぎんざけは「みやぎサーモン」としてGI登録されている。（収穫量全国1位）



かき類(養殖)

養殖は約300年前に松島湾で開始。生食用の流通が多く、また、養殖用種がきき全国各地に出荷。（収穫量全国2位）



宮城県内の各地域における農林水産物

栗原（くりはら）地域

【農産物】 水稻、そらまめ、いちご、ズッキーニ、なばな、パプリカ、トマト、きゅうり、りんご

【畜産物】 豚、採卵鶏、乳用牛、肉用牛

【林産物】 生しいたけ、なめこ

【水産物】 イワナ（養殖）

大崎（おおさき）地域

【農産物】 水稻、小麦、大豆、はくさい、なす、そらまめ、えだまめ、つるむらさき、なばな、トマト、ねぎ、りんご、日本なし、うめ

【畜産物】 豚、ブロイラー、採卵鶏、乳用牛、肉用牛

【林産物】 生しいたけ、なめこ、えのきたけ、ぶなしめじ

仙台地域

【農産物】 水稻、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、こまつな、えだまめ、いちご、イチジク、せり、なばな、パプリカ、トマト、ねぎ、きゅうり、りんご、日本なし

【林産物】 生しいたけ

【水産物】 まぐろ類、かつお、ひらめ・かれい類、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）、イワナ（養殖）

仙南（せんなん）地域

【農産物】 水稻、六条大麦、そらまめ、いちご、イチジク、つるむらさき、きゅうり、りんご、日本なし、かき、うめ

【畜産物】 豚、ブロイラー、採卵鶏、乳用牛、肉用牛

【林産物】 えのきたけ

気仙沼（けせんぬま）

・本吉（もとよし）地域

【農産物】 水稻、こまつな、えだまめ、いちご、なばな、トマト、ねぎ

【林産物】 生しいたけ

【水産物】 まぐろ類、かじき類、かつお、さめ類、さんま、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、ほや類（養殖）

登米（とめ）地域

【農産物】 水稻、小麦、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、そらまめ、えだまめ、いちご、パプリカ、トマト、きゅうり、りんご

【畜産物】 豚、乳用牛、肉用牛

【林産物】 生しいたけ

石巻（いしのまき）地域

【農産物】 水稻、小麦、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、こまつな、えだまめ、いちご、せり、なばな、パプリカ、トマト、ねぎ、きゅうり

【畜産物】 ブロイラー、肉用牛

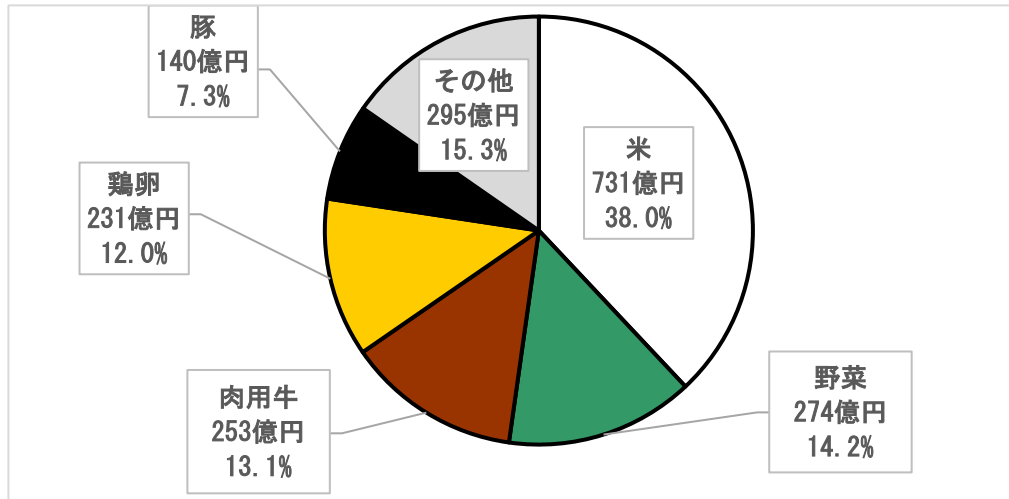
【水産物】 まぐろ類、かつお、さば類、さんま、ひらめ・かれい類、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）、ほや類（養殖）



宮 城 県 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は1,924億円で全国18位。うち米が731億円（38.0%）、野菜が274億円（14.2%）、畜産が833億円（43.3%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、せり、パプリカが全国1位、つるむらさき、大豆が2位、水稲が4位、六条大麦が5位、そらまめが6位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	宮 城 県	全 国	全国順位
水稲	収穫量	R6	366,100 t	7,345,000 t	4
六条大麦	収穫量	R6	5,050 t	54,100 t	5 *
大豆	収穫量	R5	19,400 t	260,800 t	2 *
そらまめ	収穫量	R5	447 t	11,400 t	6
いちご	収穫量	R5	4,940 t	161,800 t	10
肉用牛	飼養頭数	R6	79,500 頭	2,672,000 頭	8
乳用牛	飼養頭数	R6	15,800 頭	1,313,000 頭	9
つるむらさき	収穫量	R4	149 t	789 t	2
せり	収穫量	R4	417 t	1,020 t	1
パプリカ	収穫量	R4	1,470 t	7,380 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「畜産統計」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	宮城県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,924 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	18
米	731 億円 (38.0)	15,193 億円 (16.0)	5
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	23
豆類	26 億円	572 億円	3
いも類	6 億円	2,301 億円	33
野菜	274 億円 (14.2)	23,243 億円 (24.5)	29
果実	19 億円 (1.0)	9,590 億円 (10.1)	45
花き	25 億円	3,522 億円	38
工芸農作物	1 億円	1,467 億円	43
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	833 億円 (43.3)	37,212 億円 (39.2)	13
肉用牛	253 億円	7,696 億円	5
乳用牛	129 億円	9,249 億円	10
生乳	125 億円	8,310 億円	10
豚	140 億円	7,194 億円	16
鶏	309 億円	12,033 億円	16
鶏卵	231 億円	7,413 億円	16
ブロイラー	64 億円	4,471 億円	13 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	30
加工農産物	2 億円	513 億円	25

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

宮 城 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は12万3,900haで全国8位。うち田が10万1,700ha、畑が2万2,200ha。
- ・農業経営体数は3万5経営体で全国11位。うち法人経営体が688経営体で17位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は5,403経営体で全国16位。うち法人数が706法人で15位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が13億円で全国10位、事業体数は40事業体で8位。

耕地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
耕地面積	123,900 ha	4,272,000 ha	8
田	101,700 ha	2,319,000 ha	4
畑	22,200 ha	1,952,000 ha	20
普通畑	15,600 ha	1,118,000 ha	18
樹園地	992 ha	248,600 ha	44
牧草地	5,630 ha	585,900 ha	5
参考) 総土地面積	7,282.30 km ²	377,975.68 km ²	16

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	4,583 ha	256,676 ha	21

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農業経営体数	30,005 経営体	1,075,705 経営体	11
法人経営体	688 経営体	30,707 経営体	17
総農家数	41,509 戸	1,747,079 戸	18
販売農家	28,632 戸	1,027,892 戸	11
参考) 世帯総数	982,523 世帯	55,830,154 世帯	14
集落営農数	804 集落営農	13,998 集落営農	2

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	79,503 ha	2,593,345 ha	7
集積率	63.9 %	60.4 %	10

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	32,818 人	1,363,038 人	19
男	20,675 人	822,144 人	19
女	12,143 人	540,894 人	19
65歳以上	23,679 人	948,621 人	20
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	72.2 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	5,403 経営体	216,784 経営体	16
法人数	706 法人	29,128 法人	15
参考) 人口総数	2,301,996 人	126,146,099 人	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 7,830 百万円 事業体数 620 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	32 21
農産物直売所	総額 17,205 百万円 事業体数 420 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	30 22
観光農園	総額 189 百万円 経営体数 30 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	40 37
農家民宿	総額 11 百万円 経営体数 10 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	39 * 26
農家レストラン	総額 1,309 百万円 事業体数 40 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	10 * 8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

宮 城 県 の 林 業

- ・林業産出額は97.3億円で全国16位。うち木材生産が59.1億円、栽培きのこ類生産が37.2億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国10位、まつたけが全国3位、あかまつ・くろまつが5位、なめこ、えのきたけ、ぶなしめじが7位。

林業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業産出額	97.3 億円	5,562.5 億円	16
木材生産	59.1 億円	3,257.0 億円	15
栽培きのこ類生産	37.2 億円	2,199.2 億円	18

出典：「令和5年林業産出額」

林野面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林野面積	407,710 ha	24,770,201 ha	22
国有林	121,700 ha	7,153,338 ha	14
民有林	286,010 ha	17,616,863 ha	26
人工林面積	196,101 ha	10,133,111 ha	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業経営体数	489 経営体	34,001 経営体	27
法人経営体	78 経営体	4,093 経営体	19

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
素材生産量	629 千m ³	20,647 千m ³	10
針葉樹	577 千m ³	18,926 千m ³	11 *
あかまつ・くろまつ	31 千m ³	494 千m ³	5
からまつ	3 千m ³	1,837 千m ³	15 *
広葉樹	52 千m ³	1,721 千m ³	10 *
なめこ	生産量 1,022 t	23,752 t	7 *
えのきたけ	生産量 1,269 t	117,543 t	7 *
ぶなしめじ	生産量 3,011 t	117,924 t	7 *
まつたけ	生産量 2 t	19 t	3 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
製材工場数	72 工場	3,749 工場	27
製材用素材の入荷があった工場数	72 工場	3,722 工場	27
国産材のみ	46 工場	3,116 工場	33
国産材と輸入材	24 工場	511 工場	5

出典：「令和5年木材統計」

宮 城 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は888億円で全国 4 位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のめばち、さめ類が全国 1 位、海面養殖業のぎんざけが 1 位、かき類が 2 位、内水面漁業のさけ類が 5 位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が 2 億円で全国 8 位、経営体数は20経営体で 8 位。

漁業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	888 億円	15,265 億円	4
海 面 漁 業	585 億円	9,534 億円	3
海 面 養 殖 業	303 億円	5,731 億円	6

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,129 経営体	65,662 経営体	12
内水面漁業経営体数	27 経営体	4,076 経営体	35

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	5,242 人	121,389 人	4
男	4,726 人	109,757 人	4
女	516 人	11,632 人	9

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,004 隻	109,283 隻	5
動力漁船	1,447 隻	58,906 隻	16

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	269,363 t	3,777,921 t	3 *
海面漁業漁獲量	180,369 t	2,926,411 t	4
めばち	5,036 t	28,372 t	1 *
さめ類	11,776 t	22,522 t	1
海面養殖業収穫量	88,994 t	851,509 t	3 *
ぎんざけ	18,222 t	22,055 t	1 *
かき類	20,363 t	149,064 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	252 t	51,908 t	24 *
内水面漁業漁獲量	64 t	21,567 t	20 *
さけ類	17 t	8,034 t	5 *
内水面養殖業収穫量	188 t	30,341 t	20 *
にじます	113 t	4,734 t	10 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
水産加工	3,767 百万円	179,159 百万円	11 *
事業体数	30 事業体	1,220 事業体	10
水産物直売所	574 百万円	34,988 百万円	19 *
事業体数	30 事業体	810 事業体	10
漁家民宿	225 百万円	5,389 百万円	8 *
経営体数	20 経営体	540 経営体	8
漁家レストラン	31 百万円	13,249 百万円	31 *
事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

宮城県の農林水産業の話題等

農産物輸出に関する取組（米、いちご、さつまいも）

- JAみやぎ登米は輸出用米について「フラッグシップ輸出産地」として認定され、令和6年度には3,878トンの輸出実績となっており全国でも最大規模の取組を誇っている。また、令和7年度においても令和6年度と同等の数量を見込んでおり引き続き取組を推進する。
- 宮城県では、いちごの輸出について輸出実績のある民間会社と「宮城県産品の海外への販路拡大等に関する包括連携協定」を締結し、これまでタイ、シンガポール、香港、台湾への輸出に取り組んできた。令和6年4月からグアムへの輸出も開始し、これは宮城県産いちごとして初めての取組となる。
- JA全農みやぎでは、宮城県産のさつまいも等の農産物の輸出拡大を図るため、令和6年8月に「宮城県JA農産物輸出促進協議会」を発足し、大規模輸出産地モデル形成等支援事業に採択された。令和6年度、JA全農みやぎは県産さつまいもの輸出を本格化させ約40トンを経港向けに輸出。今後も販路拡大に取り組んでいく。



輸出用いちごパッケージ
(宮城県HPより)



収穫されたさつまいも
(JA全農みやぎ提供)

農業高校における環境負荷低減の「見える化」の取組

- 宮城県加美農業高校で栽培した「加美農米」が、環境負荷低減の「見える化」において、「温室効果ガス削減」と「生物多様性保全」の両方で最高評価の星3つを取得した。これは県内の学校で初の快挙となる。特別栽培米として農薬や肥料の使用を半減し、環境に優しい農業を実践。また、生物と共存できる環境づくりにも取り組んでいる。
- 宮城県登米総合産業高校で栽培した令和6年産環境保全米（宮城県認証特別栽培米）のひとめぼれとササニシキが「温室効果ガス削減」で星3つ、「生物多様性保全」でも星2つを取得した。同校では平成29年度から酒造会社に醸造委託して環境保全米を使った日本酒を製造しているが、今年の新酒は星を取得した環境保全米を使用していることをPRして販売。星を取得した米で日本酒を製造する取組は全国初となる。



みえるらべるが貼られた
「加美農米」



環境保全米を使った日本酒
「佐千澤」（さちざわ）

中山間地域における畑わさび生産拡大に向けた取組

大崎地域における大崎市、加美町及び色麻町では中山間地域においてイノシシ等による獣害を受けにくい新規作物の導入を目指し、令和4年度より畑わさびの試験栽培に取り組んでいる。きっかけは、加工わさびの製造を行っている国内大手企業より宮城県を通じて市町村に対し打診があったことによる。

わさびは海外での日本食ブームによる海外消費量の増加、インバウンドによる国内消費量の増加により原料不足が続いている。宮城県での畑わさび栽培は令和4年から開始し令和6年7月に初収穫を行った（栽培期間約20か月）。

また、畑わさび苗は上記の企業が全量提供し、収穫されたわさびは同企業に全量加工用として販売しており、中山間地域での安定的な収益の確保が期待される。



畑わさびのほ場
(宮城県北部地方振興事務所提供)